

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-8_運輸交通体系の整備

基本計画		事業番号	細事業名称
4-08-01	公共交通の維持・整備	02295_01	デマンドタクシー運行事業
4-08-01	公共交通の維持・整備	07024_03	生活路線維持運行対策事業補助金
4-08-01	公共交通の維持・整備	07128_01	別子山地域バス運行事業
4-08-01	公共交通の維持・整備	07129_01	バス車両購入事業
4-08-02	新しい移動サービスの導入	07260_01	公共交通機関等デジタル化推進事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	02295_01		
事業名(行目名称)		デマンドタクシー運行事業費	細事業名	デマンドタクシー運行事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	公共交通の維持・整備	担当課	地域交通課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	バス交通空白地域、高齢者等交通弱者	数値	55000			
	手段(どうやって)	バス交通空白地域へ導入する新たな公共交通の形態をデマンド型乗り合いタクシーを第一候補として、平成23年1月から平成26年9月までの試験運行を経て、平成26年10月から本格運行を実施。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	現在、バス交通の利用できる地域は人口ベースで50%以下と低い割合となっている。また、高齢化が進行し、自動車利用のできない若しくはしない人が増加し、その人たちの移動手段の確保が重要な課題となってくることが明らかであり、市内を移動する公共交通の整備の重要性は高い。このことから、バス交通空白地域へ新たな公共交通を随時導入し、高齢社会に対応し、高齢者や障害者などの交通弱者のための市内公共交通体系を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 23,311千円	
経費		19,941	23,311	23,311			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	19,941	23,311	23,311			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
乗車人数(人)		目標値	20000	20000	23000	23000	23000
		実績	16504	15880	7998	16966	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
川西地区でのデマンドタクシーの実証運行から本格運行に向けて、乗降ポイント拡大等進める。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
バス交通不便地域の補完的交通手段として導入されたデマンドタクシーの需要は高く、今後も高齢化の進展により交通弱者が増加すると考えられる。川西地区でのデマンドタクシー本格運行を経て、他のエリア(川東・上部東・上部西エリア)との運行連絡を行えるよう必要な手続を進める。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		B:事業の進め方の改善検討				
デマンドタクシーの需要は、高齢者等交通弱者の買物や通院利用目的が多い。川西地区の利用者数の伸びが課題である。乗降地点の拡大や広報の仕方など検討を行いたい。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07024_03		
事業名(行目名称)		生活路線維持運行対策費	細事業名	生活路線維持運行対策事業補助金			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	公共交通の維持・整備	担当課	地域交通課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	お年寄りや子供等の交通弱者など(未成年、60歳以上人口)		数値	66685		
	手段(どうやって)	利用者の減少等により、路線維持が困難となっている路線を維持するために、バス事業者に対して運行費の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	廃止、縮小の傾向にあるバス路線を維持し、交通弱者の足を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		93,800	58,617	58,617	○負担金補助及び交付金 58,617千円		
財源	県・国支出金	15,885	14,535	14,535		0	
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	77,915	44,082	44,082			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
路線系統維持率(%)		目標値	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるバス利用者の大幅な減少から未だ回復できず、利用者はやや増加傾向の状況。バス事業者には収支の改善を求めていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
高齢者や障がい者などのいわゆる交通弱者の交通手段を確保するためには、生活路線バスの維持が必要である。利用者の安全性及び利便性向上のため、バリアフリー車両の導入を推進する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B: 事業の進め方の改善検討				
燃料等高騰等による費用増、利用者数の減により経営環境が悪化したバス事業者を支援することにより、バス路線を維持することができた。しかしながら、持続可能な公共交通網維持のため、事業者に対し住民ニーズに合致したバス路線の見直しや利便性向上の取組を求め、収支の改善を目指したい。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07128_01		
事業名(行目名称)		別子山地域バス運行費	細事業名	別子山地域バス運行事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	公共交通の維持・整備	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民(地域バス利用者)		数値	114886人		
	手段(どうやって)	市民・地域住民が利用しやすい地域バスとなるよう利用者の要望を把握するなどして、運行時刻の見直しなど利用効率の改善に努めた。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市街地と別子山地域との交流を活性化し、地域住民の利便性向上、別子山地域への定住促進を図ることにより、地域の振興と福祉の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		20,250	20,414	20,414	○報償費 50千円 ○需用費 4,547千円 ○役務費 264千円 ○委託料 15,392千円 ○使用料及び賃借料 105千円 ○公課費 56千円		
財源	県・国支出金	4,400	4,400	4,400			
	地方債	10,100	10,100	10,100			
	その他	5,750	5,914	5,914			
	一般財源	0	0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
年間利用者数(人)		目標値	6000	6000	3000	6000	6000
		実績	4398	4053	1910	3,888	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
前年度使用不可となったバスの後継バス1台を購入し、運行の支障はありませんでした。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
別子山地域バスは、別子山地域と新居浜市街地とを結ぶ唯一の公共交通機関であり、別子山地域住民の新居浜市街地への通勤、通学、通院や別子中学校生徒の帰省になくてはならないものであることから、翌年度以降も継続する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
コロナ禍以降、利用客が徐々に減少傾向にあるが、5年8月に老朽化した車両1台を更新することにより、利用者の安全とより快適な利用を回復することができた。今後も別子山地域と新居浜市街地を結ぶ唯一の公共交通機関としての役割を果たしていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07129_01		
事業名(行目名称)		別子山地区バス車両購入事業	細事業名	バス車両購入事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	公共交通の維持・整備	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民(地域バス利用者)		数値	120,351人		
	手段(どうやって)	現在運行している地域バス3台のうち、老朽化した1台(導入後10年経過)を新しい車両へ更新する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市街地と別子山地域との交流を活性化し、地域住民の利便性向上、別子山地域への定住促進を図ることにより、地域の振興と福祉の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			4,700	4,700		○役務費 151千円 ○備品購入費 4,431千円 ○公課費 118千円	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		4,700	4,700			
	その他		0	0			
	一般財源		0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
年間利用者数(人)		目標値			3000	6000	6000
		実績			1910	3,888	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
年度当初に発注し、7月末に購入することができ、別子山地位バスを本来の3台体制で配備し、安定して運行することができた。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
24人乗りマイクロバス1台に代わる購入について、過疎計画で令和7年度に計画しており、過疎債を財源として使える時期内に、必要に応じて予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
運行開始から10年経過し、老朽化した車両1台を新しい車両へ更新することにより、利用者の安全とより快適な利用を図ることができた。今後も老朽化した車両は計画的に更新していく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07260_01		
事業名(行目名称)		公共交通機関等デジタル化推進事業費	細事業名	公共交通機関等デジタル化推進事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	運輸交通体系の整備			
	基本計画	新しい移動サービスの導入	担当課	地域交通課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	バス交通空白地域、高齢者等交通弱者		数値	32000		
	手段(どうやって)	デマンド配車システムを利用したコールセンターによる予約・配車を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	情報技術を活用した予約・配車が可能なアプリシステムを導入することにより、利用者、事業者双方の利便性向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 11,352千円	
経費		78,148	11,352	11,352			
財源	県・国支出金	78,148	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	0	11,352	11,352			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
川西地区利用人数(人)		目標値	-	-	3000	3000	
		実績	-	-	461	1135	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
川西地区でのデマンドタクシー利用者は徐々に増えてきているが、総数はまだ少ない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
コールセンターの充実を図るとともに、スマホ予約の増加につながる取組を進める。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B:事業の進め方の改善検討				
デマンド配車システムの利用については、おおむね良い利用ができているが、乗客が高齢者が多く、アプリを使った予約数が少ない。アプリを使うことのメリットを知ってもらう広報の仕方など検討を行いたい。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				